



教育委員会(県・町)、及び学校運営協議会等の学校訪問がありました

6月12日(水)は、「要請による学校訪問」と呼ばれる県教育委員会、町教育委員会、町内小学校校長、学校運営協議会委員等の方々をお招きして、終日に渡り授業を参観いただき、本校の教育活動についての指導・助言をいただく日でした。これは、香川県下のすべての小・中学校で年1回実施されているものでもあります。訪問された総勢33名の方々に、本校の学校経営について説明するとともに、1～5校時にかけて全学級、全教職員の授業を公開しました。

この日を迎えるにあたって、本校の教員は4月から授業の構想を練り、「学習指導案」と呼ばれる指導計画を作成したり、板書の計画を立てたり、授業の展開の仕方を試行錯誤したりしながらこの日の授業に臨みました。放課後に行われた会合では、各教育委員会(県・町)より本校の子どもたちの前向きに学習に取り組む様子や子どもたちと教員との関係性、教員の授業づくりへの真摯な姿勢等に対して非常に高い評価をいただきました。

また、生徒会「環境委員会」が、教室内外の整理・整頓について、「第1回SC(スクールクリーン)マイスター」と称した美しい環境づくりの取組を展開し、子どもたちは「お客様を迎えるにはお客様のお迎えの仕方がある」ことを学ぶことができましたと感じています。

また、この日の夕刻には、学校運営協議会を開催し、地域住民・学識経験者・保護者等の視点から、この日の様子についてご意見・ご感想をいただきました。以下に、その一部を紹介します。

- 1～3年生の学習への向き合い方や、学習内容の捉え方の違いがあり、それぞれに成長が感じられた。
- ペアやグループ内での関わり方や話し合いの場が充実していた。
- 先生の授業づくりや生徒への関わりに一生涯懸命さを感じた。
- 楽しい授業が多かった。もっと長い時間参観してみたい。
- 実験や話し合い等の活動が、男女分け隔てなく自然に行われていた。
- 個人で考え、グループで話し合ったり教え合ったりする活動を取り入れており、このような学習を進めていくと、学習が嫌いにならないのではないか。
- 授業中の学級の一体感や生徒の先生への信頼感を感じた。それは、先生方の学ばせようとする情熱から生まれてくるのではないか。
- 先生と子どもたちが、一緒になって授業をつくらうとする雰囲気を感じられた。
- 落ち着いて学習ができており、集中力に欠ける生徒や他事をする生徒がいないところがすごい。
- 今日の授業に向けた準備がたいへんであったであろう。
- 生徒が積極的に挙手し、授業を楽しんでいる。
- 先生との関係性が良好である。
- 先生が生徒に寄り添い、生徒の先生を見る目線も微笑ましい。
- 生徒が答えを間違っても、それをさりげなくフォローする周囲の生徒の姿が見られた。
- 終日参観してみて、改めて「早寝 早起き 朝ごはん」の大切さを実感した。保護者の協力が欠かせない。
- 先生方の声がいい。生徒との言葉のキャッチボールが上手である。
- 体育実技は大切である。体を動かす時間を大切にしてもらいたい。
- 私たちの年齢では、小さな文字はまったく読めないが、子どもたちはワークシートやタブレットの小さな文字を認識できているのだろうか。
- 鉛筆の持ち方や、足元がぶらぶらとしている生徒が気になる。
- 生徒の大きな筆箱が、机上のかなりの面積を占め、邪魔になっているのではないか。
- 歯磨きの習慣を身に付けてもらいたい。



このようにたくさんの示唆に富むお話をいただきました。令和6年度は、2か月が経過したばかりです。残り10か月、そして次年度以降も含めて、教育活動の更なる充実を目指して引き続き研鑽してまいります。